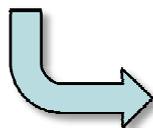


プログラムの目的

- ・未踏分野挑戦型の若手研究者の育成
- ・海外の連携研究機関を活用した、国際的研究リーダーの育成
- ・独創的な世界最高水準マイクロ・ナノメカトロニクス研究の推進
- ・新機能材料，先端メカトロニクス融合，次世代医療のブレイクスルー創出

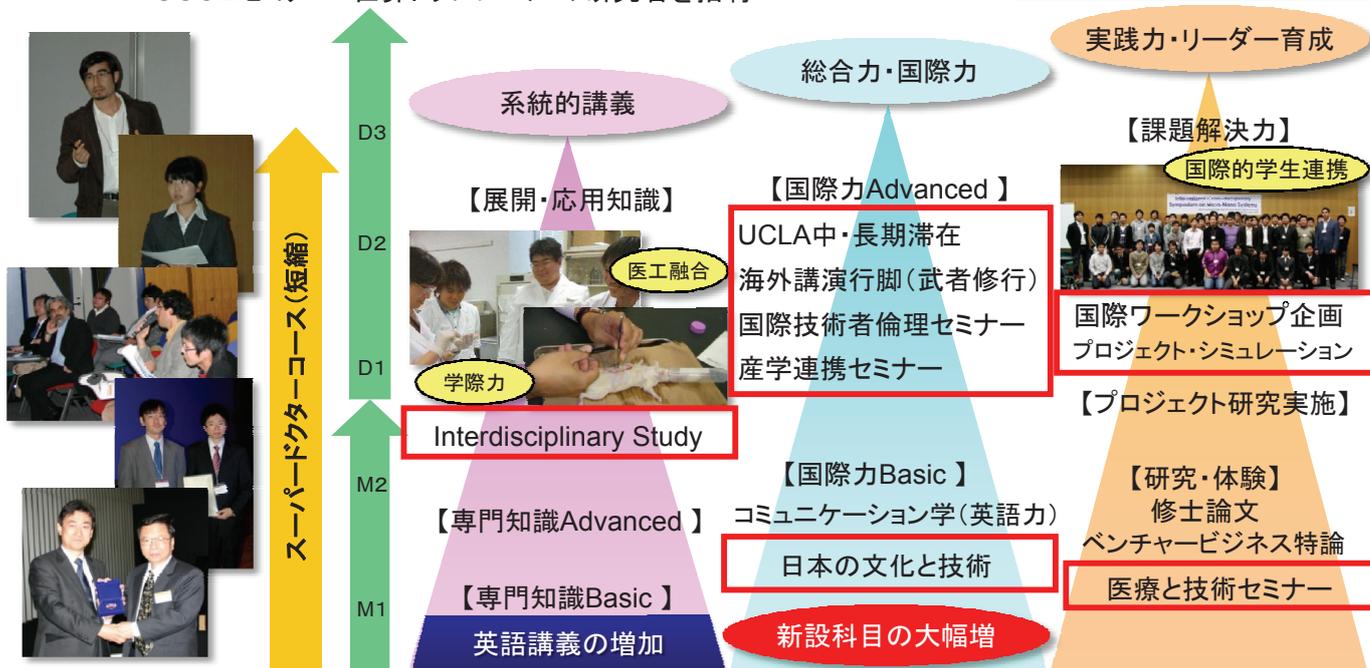


5年後の展望

次世代を担う研究・開発リーダーの輩出
世界をリードする研究と情報発信
世界に開かれたマイクロ・ナノメカトロニクス研究拠点

若手研究者の育成

- ・若手の育成事業に重点的に出資
- ・学生の基礎力を養うためのカリキュラムの整備
- ・多彩な若手育成プログラム
 - ・スーパードクター制度：大学院博士課程前・後期課程一貫教育
 - ・国際ワークショップ企画：学生の自主企画によるワークショップの開催
 - ・GCOEセミナー：世界トップレベルの研究者を招聘



国際連携

本プログラムでは、世界を牽引するリーダーを養成するため、国際的に活躍しているトップ研究者を招聘すると同時に、若手研究者や大学院生を海外に派遣し世界レベルを把握させ、また国際性を積極的に養い育てています。また、年1回の国際会議や年2回程度の国際ワークショップを開催しています。その他、UCLAをはじめ、これまでに交流してきた大学や研究機関と、さらに深い研究と教育上の交流を促進し、世界に開かれた教育研究環境の実現を目指しています。

研究と情報発信

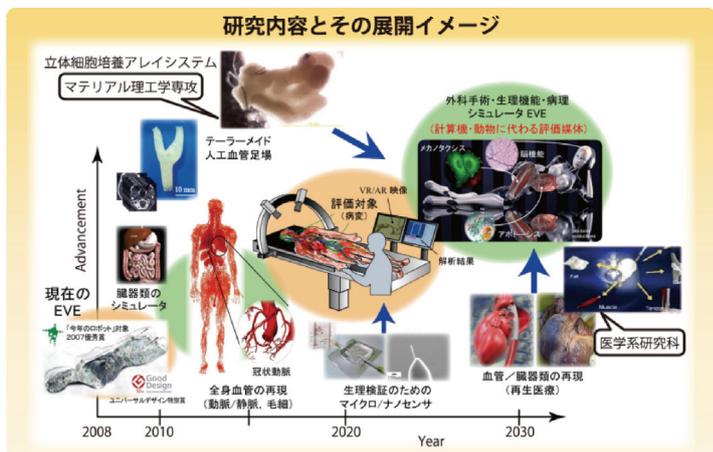
機械科学, 材料科学に基礎を置くマイクロ・ナノメカトロニクスとそのシステム化技術を体系化・統合化し, 応用分野である先端医療分野のニーズに対応できる科学技術を確立することを狙いとしています。

○基盤研究分野:

1. ナノ制御学
2. ナノ計測学
3. ナノ設計・製造学
4. ナノ材料科学

○情報発信: 大学と連携し, 「Nature Asia」連携ウェブサイト「Nagoya University Research」を通じた情報発信を行っています。

URL: <http://www.nu-research.com>



マイクロ・ナノメカトロニクス研究拠点

マイクロ・ナノメカトロニクス研究センター(2009.10設立)

基盤研究4部門が分野横断型研究体制により連携し, バイオ・医療分野への応用を行っています。



メンバー構成

基盤研究4部門

ナノ制御学



福田敏男 大日方五郎 新井史人 Chih-Ming Ho

UCLA

ナノ計測学



新美智秀 福澤健二 巨陽 成瀬一郎

ナノ設計・製造学



社本英二 梅原徳次 佐宗章弘

ナノ材料学



大野信忠 興戸正純

応用研究

先端バイオ・医療技術



上田実 磯部健一
医学部



白倉治郎